



大竹さんの大玉トマト



ハチや納豆菌の力を借りることで、元気に真っ赤に育つ大玉トマト



真っ赤になってから収穫するので、美味しい♪

★香り豊かでみずみずしい大玉トマト

夏に向けてトウモロコシやトマトを主に作っている大竹さん。大玉トマトは毎年約2,000本を育てています。受粉は蜂の力を使うので、ハウスの入り口には「ハチが飛んでいます！」という注意書きがあります。

トマトを毎年育てていますが、夏はハウスを閉め切り、ビニールで土の表面を覆い、太陽熱で病原菌や雑草の種を焼いてしまうことで、土壌消毒などを一切せずとも問題がないといえます。

「人間が育てているなんてとんでもない。野菜は自分自身で育っているんだから」という姿勢で野菜が育ちやすい環境を作ってあげます。例えば、放っておくとどうしてもカビや病気が出るので、大体1週間に1回は納豆菌を葉っぱに散布することで、病原菌がはびこらないようにします。また、与える水の量を抑えることで収量よりも味がのるようにし、赤く完熟してから収穫するので、一番美味しい状態で出荷が出来ます。手間を惜しまないことで、トマトさんも果肉がぎゅっと詰まっているのにも関わらず、みずみずしく香りも豊かなトマトに育つのでしょうかね。

燃料を燃やして温めるのではなく、おてんと様の方で育てる大竹さんの大玉トマトの旬は6月～7月の約1ヶ月です。天候にもよりますが、大体7月20日頃まで出荷できる予定です。旬が限られていますが、是非その旬の味を楽しんで頂ければと思います。

【産地情報】

◎7月5日（日）から池谷さんの小玉スイカ「マダーボール」が販売開始予定です！手頃な大きさで甘みものっていて、毎年多くの方から待ち望んでいる小玉スイカ。約1ヶ月の期間限定発売です。

◎落花生の在庫が残りわずかになり、注文量次第で早めに終了予定です。

◎ナスとミニトマトの生育が遅れ気味で、中旬以降に安定してくる予定です。



大竹さんのトウモロコシ



堆肥や鶏糞や籾殻を施し、団粒化した土ですくすく育つとうもろこし



虫も獣も大好きなトウモロコシ、鮮度が良い状態でお届けできるようにしています

★虫や動物も大好きなトウモロコシ

今が旬真っ盛りのトウモロコシ。その美味しさは動物も虫も大好きで、ハクビシンという獣がガリガリとかじり散らし、また必ずと言っていいほど蛾の幼虫やアブラムシの被害にあります。

大竹さんの畑の近くではハクビシンの被害で多くの方がトウモロコシ栽培を止めてしまいました。大竹さんは畑に夜出かけ、寝ずの番をして見守ったこともありましたが、今は電線を周りに張り巡らすことで、被害を防げるようになりました。しかし、虫の害だけはどうしてもありません。

そのため、収穫した後、1本1本虫の入りを見て、普段でも2割ぐらい、多いときは半分を廃棄することもあります。それでも「農薬を使わないのが当たり前なんだから」という姿勢で、笑いながら作り続けています。

トウモロコシは鮮度が命！収穫したらすぐに冷蔵庫で冷やすことで呼吸を抑え、なるべく新鮮な状態で出荷することで、甘くみずみずしいトウモロコシをお届けできるように努めています。

トウモロコシは日に日に虫が増えてきます。その虫の被害によりますが、大体7月2週目まで出荷できる予定です。旬が限られています是非その旬の味を楽しんで頂ければと思います。

【産地情報】

◎おかげさま農場のホームページが新しくなりました。「<http://www.okagesam.info/>」で検索してお気に入り登録し直して頂ければと思います。今までのホームページは近日に無くなる予定です。

◎落花生の在庫が残りわずかになりました。注文量次第で早めに終了予定です。

◎ナスとミニトマトの生育が遅れ気味で、中旬以降に安定してくる予定です。